

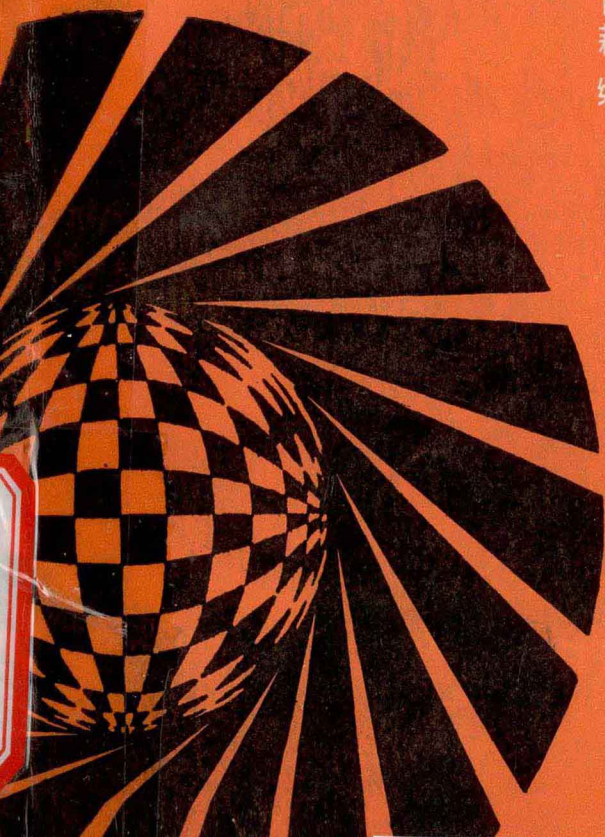
吉林电视台电视教材

中級日語

文力 高光日 夏小青 甘莉 编

刘福龄 贾玉琴 审定

东北师范大学出版社



吉林电视台电视教材

中 级 日 语

文 力 高光日 夏晓青 甘 莉 编
刘福龄 贾玉琴 审定

东北师范大学出版社

吉林电视台电视教材

中 级 日 语

ZHONGJI RIYU

文 力 高光日 夏晓青 甘 莉 编

刘福龄 贾玉琴 审定

责任编辑: 李殿国 封面设计: 王 帆 责任校对: 左 群

东北师范大学出版社出版
(长春市斯大林大街110号)

吉林省新华书店发行
长春新华印刷厂印刷

开本: 787×1092毫米 1/32

1989年6月第1版

印张: 7.5

1989年6月第1次印刷

字数: 150 千

印数: 000 1—5 100 册

ISBN 7-5602-0302-7/H·25

定价: 2.50 元

前 言

《中级日语》是吉林电视台举办的日语讲座采用的第二册教材。

继《生活日语》之后,为使学习日语的同志能够更系统、更深入地学习,以达到中级日语学识水平,我们特编辑了这本教材。

《中级日语》共15课,含2 200个单词,53个句型和基本语法。根据电视讲座的需要,我们在内容的编排上着力于在《生活日语》基础上把知识面进一步加深、拓宽,并注重了同《生活日语》的衔接性,不同类别课文的社会性,知识的系统性、实用性。

考虑到自学者的需要,每课的安排除课文、单词、注释、语法、句型外,还编写了详尽的译文。

《中级日语》文章选自日本中学国语、理科课本、早稻田大学语学研究所编《外国学生用日语教科书》中、上级;《NHK中级日语》等。

《中级日语》教材由长春外国语学校文力、高光日、夏晓青、甘莉共同选编,刘福龄、贾玉琴审定。

由于时间仓促,水平有限,不足之处恳请读者批评指正。

吉林电视台

1989年3月

目 录

1. 日本語の学習.....	1
2. バスの中のできごと.....	11
3. 手紙.....	20
4. お祭り.....	27
5. 五色のしか.....	36
6. 衛生.....	51
7. 日本の農業の特色.....	65
8. 四季の移り変わり.....	76
9. 都会と若者.....	91
10. 地球と生物圏	105
11. 現代の敬語	116
12. 自体に関する言い回し	140
13. 日本の近代化	162
(阅读课文)	
14. 蜘蛛の糸	182
15. 坊っちゃん	202

1. 日本語の学習

私が日本へ来て、きょうでちょうど半年になる。時のたつのは実に早いものだ。私がまだ日本語の勉強を始めたばかりのころ、先生が「半年もたてば、かなりじょうずになる」と言われたが、確かに先生の言われたとおりだ。日常生活にも不自由しない程度に上達したと思う。私は日本語を勉強するために日本へ来たのだから、できるだけ有効に時間を利用して、むだのない毎日を送らなければならない。そして、来年の三月までに、日本語が完全に身につくよう努力したいと思っている。

日本語の勉強で私がいちばん苦労した点は、何と云っても漢字の学習であろう。現在、日本で日常ふつうに使われている漢字は千八百五十字ほどだという。そのうち小学校では千字ぐらい覚えなければならないという話だ。私は今、五百字ぐらい覚えたところだから、だいたい全体の約四分の一で、小学校の四年生ぐらいに当たるわけだ。漢字は書き方がむずかしいというが、代表的なへんやつくりを覚えれば、あとは割合簡単に覚えられることを発見した。私はいつも漢和辞典を引くたびに一つずつへんやつくりを覚えることにしている。最近は教科書を見なくても習った漢字はだいたいそらで書けるようになった。しかし、漢字には音と訓とがあって、読み方がむずかしいからまだまだ

勉強することがたくさんある。油断大敵，うかうかしてはいられない。

日本という国はおもしろい国だ。中国で発明された漢字のほかに，ひらがなとカタカナとがあって，この三種類の文字を使い分けている。ひらがなはふつうの文章に漢字とまぜて用い，カタカナは外来語や外国の地名・人名などに用いる。かなはだいたい発音どおりに書けばいいから，あまりむずかしくない。しかし，聞くところによると，以前は「歴史的かなづかい」といって，現代語の発音とはずいぶん違った書き方をしていたのだそうだ。その点，「現代かなづかい」は現代語の発音に近いので耳で聞いたことばもかんたんに国語辞典で調べることができる。もっとも，やさしい単語なら，もう辞書を見なくても意味がわかる。しかし，辞書を引くという習慣は大事だと言われたので，私は一日に一回は必ず辞書を引くことにしている。この習慣がきっと今後の学習に役立つにちがいない。

早稲田大学語学教育研究所編

外国学生用日本語教科書

词 汇

ちょうど	〈副〉	正好，恰似
半年（はんとし）	〈名〉	半年

実に (じつに)	〈副〉	的确、非常
かなり	〈副〉	相当、很
確か (たしか)	〈形动・副〉	确实、可靠、的确
とおり	〈接尾〉	如……那样 照……样
日常 (にちじょう)	〈名〉	日常
不自由 (ふじゆう)	〈名・形动・自サ〉	不自由、不方便
程度 (ていど)	〈名〉	程度、水平
上達 (じょうたつ)	〈名・サ自〉	(技艺、学业) 长进、进步
できるだけ	〈词组〉	尽可能, 尽量
有効	〈形动〉	有效、有效地
利用 (りよう)	〈名・他サ〉	利用
むだ	〈名・形动〉	徒劳、白费
完全 (かんぜん)	〈名・形动〉	完全、完整
身につく (みにつく)	〈词组〉	掌握
努力 (どりょく)	〈名・自サ〉	努力、勤奋
苦劳 (くろう)	〈名・形动・自サ〉	苦劳、辛苦
点 (てん)	〈名〉	点、方面
何といっても (なんといっても)	〈词组〉	无论怎么说
ふつう	〈名・形动〉	普通、一般
小学校 (しょうがっこう)	〈名〉	小学、小学校
覚える (おぼえる)	〈他下一〉	感觉、学会、记住
ところ	〈造〉	情况、程度

だいたい	〈名・副〉	概要、大致、大体上
全体（ぜんたい）	〈名〉	全体、整个
約（やく）	〈副〉	大约、约
四分の一（よんぶんのいち）	〈词组〉	四分之一
当たる（あたる）	〈自五〉	相当于
わけ	〈名〉	道理、原因情况
書き方（かきかた）	〈名〉	写法
代表的（だいひょうてき）	〈形动〉	代表性的
へん	〈名〉	偏旁（左偏旁）
つくり	〈名〉	结构、部首（右偏旁）
割合（わりあい）	〈名・副〉	比较地、比例、
発見（はっけん）	〈名・他サ〉	发现
引く（ひく）	〈他五〉	查（字典）
たび	〈名〉	每……时候、
ずつ	〈副助〉	（接数量词后） 表示平均的意思
最近（さいきん）	〈名・副〉	最近、近来
教科書（きょうかしょ）	〈名〉	教科书
そら	〈名〉	背诵、背写
音（おん）	〈名〉	音、（汉字的）音读
読み方（よみかた）	〈名〉	读法
油断大敵（ゆだんたいてき）	〈词组〉	千万不能麻痹大意、一大意就出

うかうか	〈副・自サ〉	马马虎虎 糊里糊涂
発明 (はつめい)	〈名・他サ〉	发明
ほか	〈名〉	除……以外 还……
種類 (しゅるい)	〈名〉	种类
文字 (もじ)	〈名〉	文字
使い分ける (つかいわけ)	〈他下一〉	分别使用
文章 (ぶんしょう)	〈名〉	文章
まぜる	〈他下一〉	掺合、搅合、混在 一起
用いる (もちいる)	〈他上一〉	使用、录用
外来語 (がいらいご)	〈名〉	外来语
地名 (ちめい)	〈名〉	地名
人名 (じんめい)	〈名〉	人名
以前 (いぜん)	〈名〉	以前、从前
現代語 (げんだいご)	〈名〉	现代语言
違う (ちがう)	〈自五〉	不同、错误
耳 (みみ)	〈名〉	耳朵
ことば	〈名〉	语言、词
調べる (しらべる)	〈他下一〉	查找、翻阅
単語 (たんご)	〈名〉	单词
習慣 (しゅうかん)	〈名〉	习惯、风习
大事 (だいじ)	〈名・形动〉	重要的
一回 (いっかい)	〈名〉	一回、一次
必ず (かならず)	〈副〉	必须、一定

今後（こんご）

〈名〉

今后、以后

役立つ（やくだつ）

〈自五〉

有用、有效、有益
处

注 释

1. 時のたつのは実に早いものだ。（时间过得真快呀！）

「時のたつ」中的「の」代替了主格助词「が」。「時の」部分是定语的主语。这种情况下主格助词「が」可以用「の」。「もの」是形式体言，表示为人或事物的强调或感叹。

2. 先生が「もう半年もたてばかなりじょうずになる」と言われた。（老师说：“再过半年就会相当不错。”）

「も」是副助词，起提示作用，表示对程度、界限、数量的估计，可译为“竟”“也”“最”等。「言われた」是动词「言う」后续敬语助动词「れる」构成的尊敬语。

3. 日本でふつう使われている漢字は千八百五十字ほどだという。（据说在日本平时常用的汉字大约有1850字。）

1946年日本政府进行了一次文字改革，公布了“当用汉字表”。规定了1850个当用汉字供日常生活使用。1981年日本政府又在原有的当用汉字表的基础上公布了新的常用汉字表共1945个字。公布新的常用汉字表之后，过去的各表一律作废。

4. そのうち小学校では千字ぐらい覚えなければならぬ

という話だ。(据说在小学必须学会其中的一千字左右。)

「という話だ」译为“听说”、“据说”等。「なければ
ならない」是词组，意思是“必须”“一定”。

5. 歴史的かなづかい (历史假名用法)

1946年文字改革以前的假名用法叫“历史假名用法”，
书写和发音有不一致的地方。文字改革以后规定，按照实
际发音使用假名。〔只有助词「は」(わ)「へ」(え)〕
例外。这次规定的假名用法叫「現代かなづかい」“现代
假名用法”。现在我们学习的就是这一种。

句 型

1. ～ことにしている

一つずつへんやつくりを覚えることにしている。(决
心记住每个偏旁部首。)

「ことにしている」接在动词连体形的后面，表示主观
上做出的决定或下定的决心。

例 毎日1時間ぐらい日本語を勉強することにしてい
る。(决定每天学习一个小时的日语。)

2. ～てはいられない

油断大敵、うかうかしててはいられない。(麻痹大意要
吃亏的，不能漫不经心。)

「てはいられない」接在动词连用形的后面，表示不能
无动于衷的意思。

例 それを聞いて私もだまっていられない。(听了那件事，我也不能沉默了。)

3. ～にちがいない

今後の学習に役立つにちがいない。(一定会对今后的学习起作用。)

「にちがいない」接在体言、用言连体形(形容动词词干)的后面，表示“一定是”“无疑”等意思。

例 ①この本を買ったのは木村さんにちがいない。(买这本书的准是木村君。)

②長白山の景色はきれいにちがいない。(长白山的风景无疑是美丽的。)

语 法

1. 副助词「ばかり」

「ばかり」接在体言、用言、助动词连体形、助词、副词的后面，表示事物数量的大致程度或事物的限度和范围，强调行为的原因或某一事物刚刚实现和即将完成的状态。可译为“左右”、“刚”“只”“仅仅”等。

例 ①昨日帰ったばかりです。(昨天刚回来。)

②ここから学校までは三キロばかりです。(从这到学校大约三公里。)

2. 副助词「まで(に)」

「までに」是副助词「まで」加格助词「に」构成的。

可译为“在…以前就”意思是某种动作行为是在预定的某一点（某一时间）之前发生，而至于什么时候发生就不一定了。

例 ①明日の十時までにやってしまわなければならない。（到明天十点前必须做完。）

②東京に着くまでに雑誌を読むのをやめた。（到达东京之前就不看杂志了。）

3. 副助词「ずつ」

「ずつ」接在表示数量的体言、副词、副助词的后面，表示等量分配或等量反复。可译为“各…”“一个个”“一点点”等。

例 ①みなさん、この紙を一枚ずつ持っていてください。（各位，请各拿一张纸去。）

②毎日2時間ずつ英語を勉強する。（每天学习2小时英语。）

课 文 译 文

1. 学习日语

到今天为止，我来日本刚好半年。时间过得真快啊。还是我刚开始学习日语的时候，老师就讲过：“过半年会相当

不错。”确实如先生所说的那样。我觉得在日常生活中已达到了比较自如的程度。我是为了学习日语才来日本的，所以必须尽可能有效地利用时间，充实地度过每一天。我打算努力学习，到明年三月份完全掌握日语。

不管怎么说，在日语学习中，我感到最费力气的，还是学习汉字。据说，现在在日本，日常常用的汉字大约为一千八百五十字，在小学必须学会一千左右个汉字。现在我已学会了五百个字左右，大体上约是全部汉字的四分之一，相当于小学四年级学生的程度。听说汉字的写法很难，但我发现记住有代表性的偏旁部首等，其它便很容易记住了。

每当查汉和辞典的时候，我总是记住每个偏旁、部首。近来凡是学过的汉字，即使不看教材，也能背着写下来。但是，汉字有音读和训读，读法很难，所以还有很多需要学习的，切勿麻痹大意，千万不能马马虎虎。

日本这个国家很有趣，分别使用着三种文字，即除了使用中国发明的汉字以外，还有平假名和片假名。平假名与汉字混用于一般的文章中，用片假名书写外来语和外国地名、人名等。假名书写并不难，基本上按发音书写就可以了。但是，据说以前叫做“历史假名用法”的，书写方法和现代语的发音相当不一样。在这一点上，“现代假名用法”与现代语的发音很相近，所以，用耳朵听到的词，也很容易在国语辞典上找出来。不过，要是简单的单词，即使不查辞典也会明白它的意思。但是，听说查辞典的习惯很重要，所以我现在每天一定要至少查一次。这个习惯肯定会对今后的学习起作用。

2. バスの中のできごと

ぼくは、毎日、山田町の警察署の前からバスに乗って、学校へ通っている。朝は、通勤や通学の人たちで、バスがたいへんこむ。警察署前からは、なかなか乗れないことが多い。乗る人は、なんとかして乗りこもうと、力いっぱい前の人をおす。ぼくも、力を出して前の人をおすのだが、なかなか乗れない。毎朝、とても苦労してしまう。

ところが、乗ってみると、バスの後ろの方は、案外すいていることが多い。みんなが、もう少しずつめれば、まだ何人も乗れるはずなのに、乗った人たちは入り口の近くにかたまっていて、ちっとも動こうとしない。ぼくは、一人でも多く乗せてあげようと思って、おくへつめようとするが、ぼくだけの力では、どうすることもできない。逆におし返されたり、何をするのだといったような目で見られたりすることさえある。そんな時、ぼくは、声を出して、

「おくへつめてあげてください。」

と言おうと思うのだが、その声は、のどまで出かかって止まってしまう。

昨日の朝も、いつもと同じように、バスがこんでいた。ぼくがようやく乗りこんで、少し中の方へ入った時、すぐ後ろで、

「もっと、おくへ入ってあげてください。だれでもみんな

な急いでいるのですから。」

と、バスの中にひびきわたるような声で言った人があった。見ると、それは、少し年を取った男の人だった。その声でみんな少しずつ、おくへつめた。

ぼくは、自分が言いたいと思いながら言えなかったことを、この人が堂堂と言ってくれたので、ほんとうにうれしかった。でも、それとともに、どうしてぼくには言えなかったのかと思うと、残念なはずかしい気持ちになった。

この男の人のように、自分のことだけでなく、みんなのことを考える人、そして、それをはっきりと口に出して言える人、こういう人が、世の中でいちばんりっぱな人だと思う。ぼくは、この人のように、みんなのためにいいと思うことを進んで言える人になりたいなあ、と思った。

東京書籍「新しい国語」6下

词 汇

できごと	〈名〉	事件、事故
ぼく	〈名〉	我（男子用语）
山田町（やまたちょう）	〈名〉	山田街（地名）
警察署（けいさつしょ）	〈名〉	警察署
通う（かよう）	〈自五〉	来往、通行
通勤（つうきん）	〈名・自サ〉	通勤
通学（つうがく）	〈名・自サ〉	通学、走读